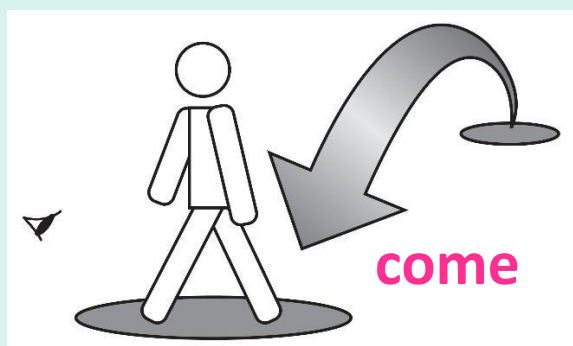


< 基本動詞 > COMEの世界

Business comes first.

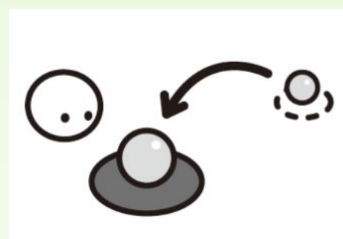
CORE IMAGE



視点が置かれている
ところへ移動する



go のコアが「視点の置かれたところから離れる」というものですが、come の場合は、「視点が置かれているところへ移動する」というものです。



ここでも視点が重要で、Supper is ready. (ごはんよ)とお母さんに言われて、**I'm coming.** (今行くところだよ)と応答しますが、この **I'm coming.** は、話題の中心が、お母さんが居る場所であって、そこに心理的に視点を置いて、**I'm coming.** と表現しているのです。電話で友人に「明日君の家に遊びに行くよ」という際に、**I'll come over to your house tomorrow.** と言いますが、考え方は同じです。



I'm **coming.**

今行くところだよ



I'll **come** over to your house tomorrow.

明日君の家に遊びに行くよ

come は「何か(誰か)がやってくる」という状況で使う動詞ですが、**Everything comes and goes.** (すべてのものは現れては消える)、**The news came as a shock.** (その知らせは私にはショックだった)、**The time has come for me to think about my future.** (将来のことを考える時が来た)など、何がやってくるかで日本語にした場合、訳し方が異なります。



Everything **comes** and goes.

すべてのものは現れては消える



The news **came** as a shock.

その知らせは私にはショックだった



The time has **come** for me to think about my future.

将来のことを考える時が来た

また、「視点のあるところへの移動」といっても、**come to the station** (駅に来る)のように場所だけでなく、例えば **My dream came true.** (夢が叶った)のように真実である状態 (true) だったり、**Business comes first.** (商売第一)のように第一 (first) だったり、あるいは **Our work has come to nothing.** (仕事は報われなかった)のように無駄 (nothing) だったりします。「お客様が第一です」も **Your customer comes first.** といいます。



come to the station

駅に来る



My dream **came** true.

夢が叶った



Business **comes** first.

商売第一



Our work has **come** to nothing.

仕事は報われなかった



Your customer **comes** first.

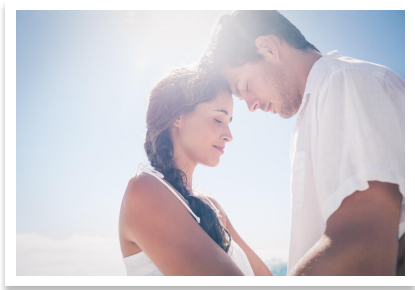
お客様が第一です

come の使い方をさらに広げてみれば、「~するようになる」という場合も come が登場します。
I came to know her well. (彼女のことをよく知るようになった)や **I came to understand her feelings.** (彼女の気持ちがわかるようになってきた)のように、「何かをするに至る過程 (プロセス)」を表現するときに、**come to do** の形が使われます。



I came to know her well.

彼女のことをよく知るようになった



I came to understand her feelings.

彼女の気持ちがわかるようになってきた